

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<3週> 感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数が例年に比べかなり多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<インフルエンザ> 第3週のインフルエンザ患者報告総数は2,629



病原体情報  
P.5

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告



速報  
P.6-7

幼稚園で発生したノーウォークウイルスによる感染性胃腸炎の流行 - 栃木県 / *Salmonella* Enteritidisファージ型18による食中毒事例 - 長野県 / 他



海外感染症情報  
P.8

ウガンダのエボラ出血熱更新 - 新たな患者発生見られず / ドイツのライム病サーベイランス / 他



感染症の話  
P.9-11

エロモナス・ハイドロフィラ / ソブリア感染症  
エロモナスは淡水域の常在菌で、河川、土壌、魚介類等に広く分布し、熱帯および亜熱帯地域の開発途上国で分離率が高い



読者のコーナー  
P.12



グラフ総覧(3週)  
P.13-19



3週のデータ  
P.20-27



# 発生動向総覧

第3週コメント 1月26日集計分

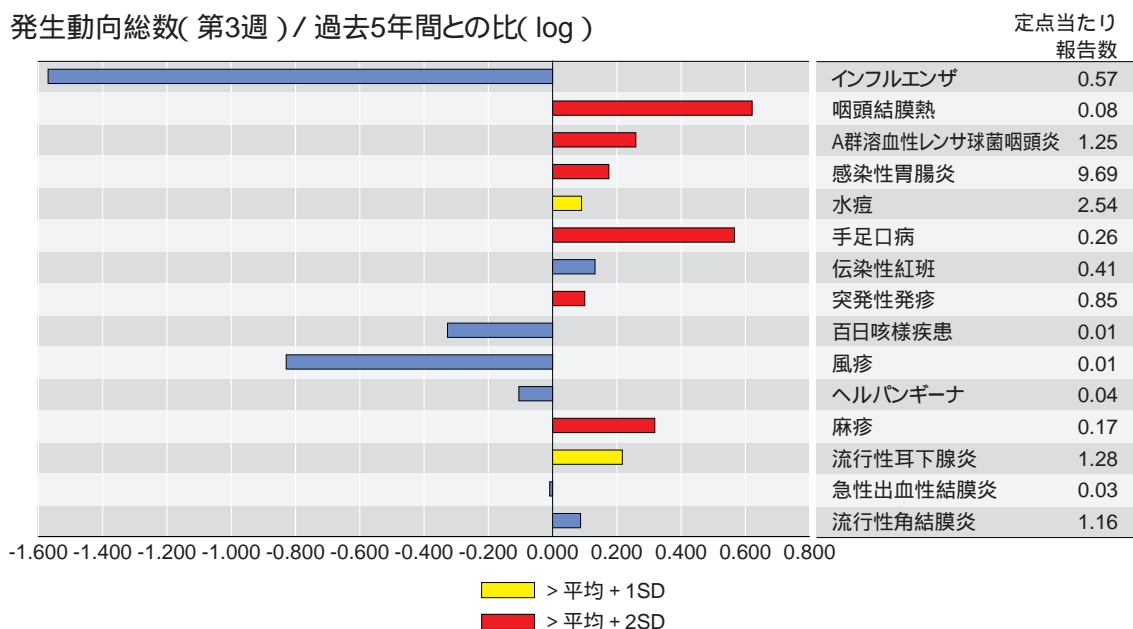
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢9例( 推定感染地: 国内4例、タイ2例、インドネシア、ケニア、ネパール各1例 )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症13例
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例、ツツガムシ病5例、レジオネラ症3例  
 急性ウイルス性肝炎2例 A型2例  
 後天性免疫不全症候群6例( AIDS1例、無症候性キャリア4例、その他の病状1例 )  
 感染経路\_ 性行為感染6例( 同性間1例、異性間5例 )  
 梅毒8例( 早期顕症5例、晩期顕症2例、無症候1例 )  
 デング熱1例( 推定感染地: インドネシア )

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が例年にくらべかなり多くなっている。感染性胃腸炎は宮崎県で定点当たり報告数26.8と多くなっている。麻疹は例年の同時期とくらべ定点当たり報告数がかなり多く、とくに高知県では定点当たり報告数が3.2となっており、大分県でも定点当たり報告数が1を超えている。流行性耳下腺炎と水痘は過去5年の同時期と比較してやや定点当たり報告数が多くなっている。水痘は宮崎県で定点当たり報告数5.8、長野県で4.2、福井県で4.1と報告が多くなっている。インフルエンザの活動性はまだ低く、全国平均で定点当たり報告数0.57となっている。咽頭結膜熱は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている( 13ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照 )。

発生動向総数( 第3週 ) / 過去5年間との比( log )

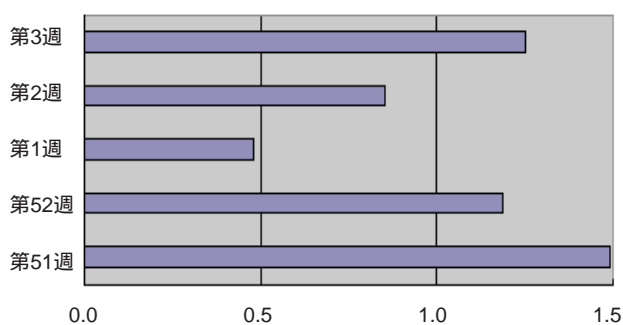


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 ) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

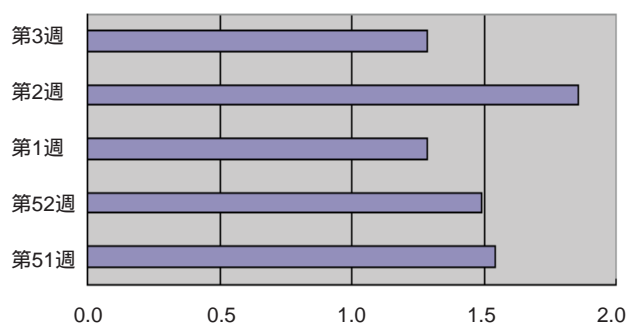
## 最近の注目疾患-5週間の動き

流行性耳下腺炎、水痘は前週より定点当たり報告数が減少した。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2001年第1週を境に再び増加傾向に転じている。流行性角結膜炎は前週より定点当たり報告数が減少した。インフルエンザは依然活動性が低いが、前週より定点当たり報告数がわずかに増加し、全体として緩やかな増加傾向にある。

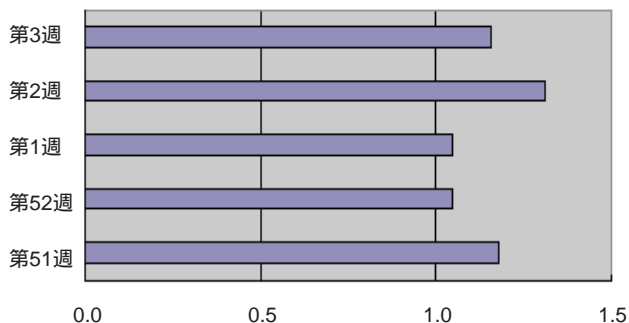
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



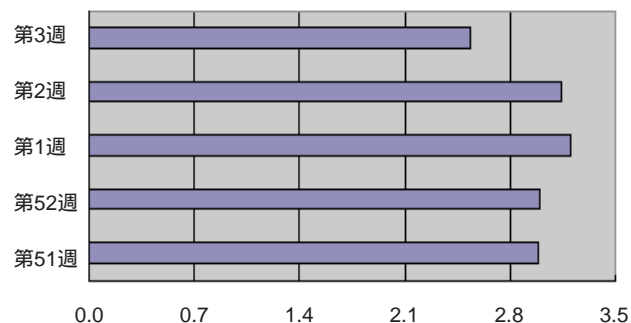
流行性耳下腺炎



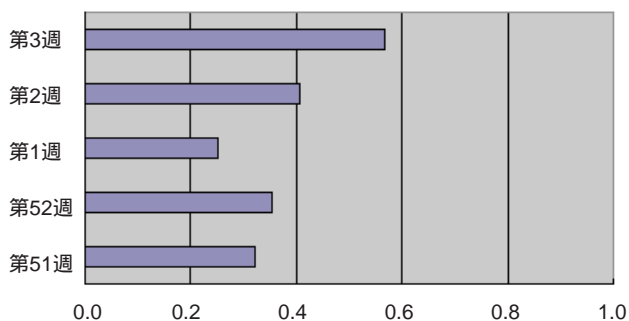
流行性角結膜炎



水痘



インフルエンザ



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

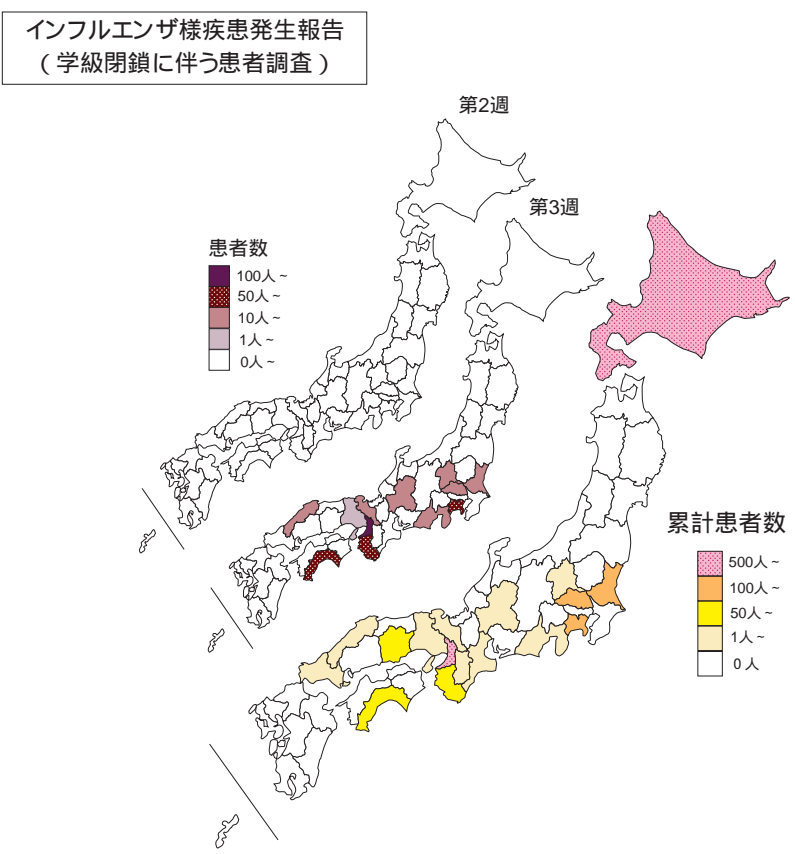
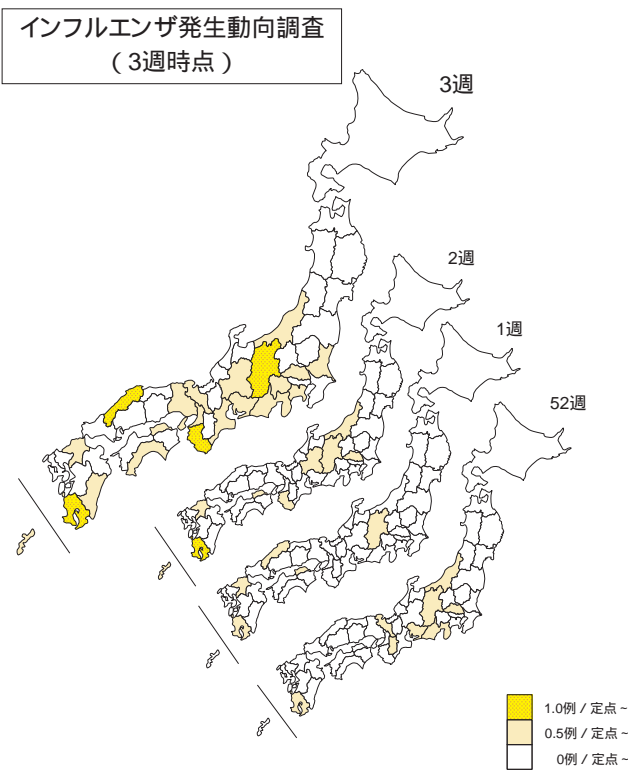


# 注目すべき感染症

## インフルエンザ流行状況

2000/2001シーズンのインフルエンザ患者発生は現在のところ流行開始の指標と考えられる閾値( 定点当たり報告数1.0 )に達しておらず、インフルエンザ流行の活動性は低い。2001年第3週のインフルエンザ患者報告総数は2,629で、この1週間の1医療機関当たりの平均インフルエンザ患者受診数( 定点当たり報告数 )は0.57であった( 都道府県別患者発生状況については下図参照。インフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては5ページ病原体情報参照 )。

厚生労働省健康局結核感染症課のまとめによると、インフルエンザ様疾患発生報告数における学校欠席者数は、平成12年10月29日から平成13年1月20日までの累計で1,041人であり、昨年同期の44,183人に比べ40分の1以下となっている。





# 病原体情報

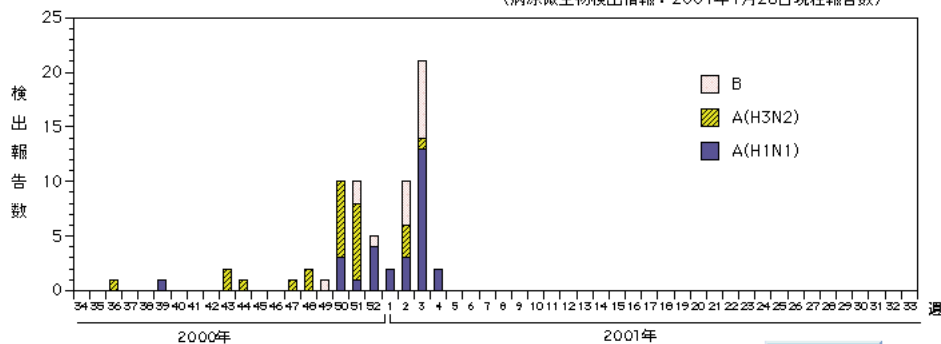
(2001年1月26日現在報告分)

\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

## インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が29件、A/香港(H3N2)型が25件、B型が15件報告されている。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第52週に新潟県4\*、第1週に香川県2、第2週に仙台市1、兵庫県2、第3週に神奈川県3、三重県1、大阪府2、島根県7、第4週に千葉県1、大阪市1、A/香港(H3N2)型が第51週に横浜市1、新潟県3、鹿児島県3、第2週に奈良県3、第3週に大阪府1、B型が第51週に長崎県2、第52週に奈良県1、第2週に奈良県1、長崎県3、第3週に静岡県4、高知県1、宮崎県2が報告されている(\*はPCRによる検出)。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン  
(病原微生物検出情報: 2001年1月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

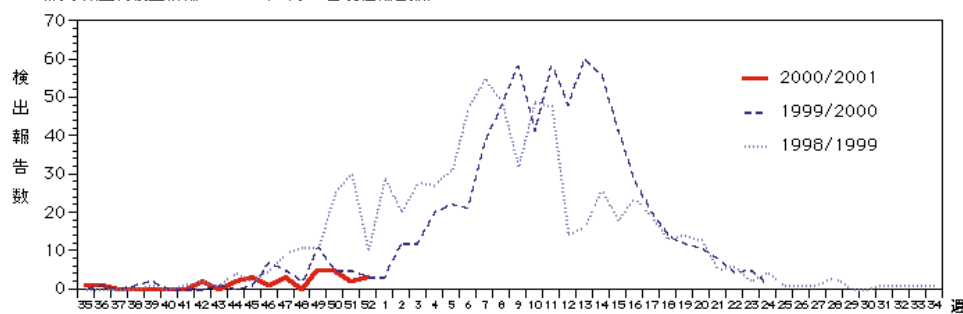


Infectious Agents Surveillance Report

## 感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は28件、SRSVの検出は229件報告されている。最近では、ロタウイルスは第51週に岩手県1、新潟県1、第52週に大阪市1、島根県2、SRSVは第51～52週に岩手県11、千葉県5、新潟県7、大阪市12、北九州市1、第1～3週に新潟県3、大阪市6が報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)  
(病原微生物検出情報: 2001年1月26日現在報告数)

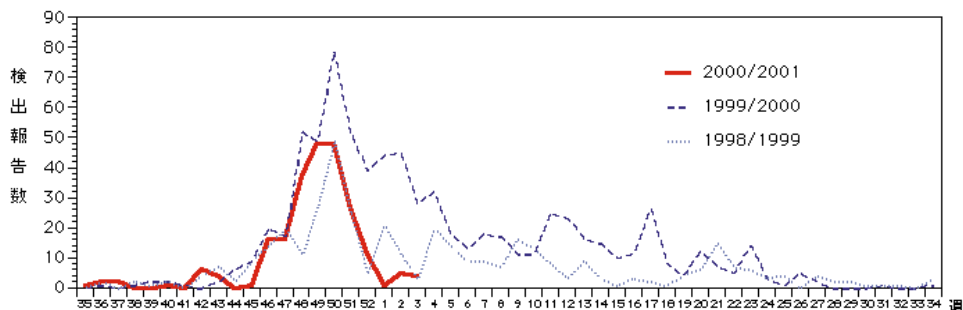


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)  
(病原微生物検出情報: 2001年1月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



## 幼稚園で発生したノーウォークウイルスによる感染性胃腸炎の流行 - 栃木県

本県の感染症発生動向調査の第46週( 11月13日 ~ 19日 )報告で、県北の定点医療機関からの感染性胃腸炎の報告が急増し、11月15日 ~ 22日にかけて、同定点医療機関で集団発生が疑われる感染性胃腸炎患者の糞便5検体が採取された。検体はN町のA幼稚園( 園児400名 )の3 ~ 5歳の園児からで、臨床症状は嘔吐100%( 5/5 )、嘔気と下痢がそれぞれ40%( 2/5 )、腹痛、発熱および血便がそれぞれ20%( 1/5 )であった。

検査としては、電子顕微鏡( EM )法とPCR法を実施した。PCR法のプライマーはポリメラーゼ領域のNV35/36系とYuri22系を用いた。その結果、EM法で3検体からSRSV様粒子を検出し、PCR法ではYuri系プライマーで5検体が陽性になり、GI、GIIプローブ( 国立公衆衛生院分与 )を用いたマイクロプレートハイブリダイゼーション法により、すべてノーウォークウイルス( NV )geno-group II陽性となった。

このことから、12月11日より管轄保健所はA幼稚園、定点医療機関の聞き取り調査、および地域流行把握のため、A幼稚園近辺の小学校児童の欠席状況調査を行った。調査の結果、A幼稚園では11月中旬に40 ~ 50名( 最高82名 )の園児が連日欠席していた。主な症状として嘔吐、下痢、発熱等が認められた( 12月の調査時点では20名程度の欠席で、ほとんどが咳とどの痛みを主訴とし、嘔吐、下痢による欠席者はなかった。定点医療機関では、この時点のA幼稚園園児の受診はほとんどなくなっていた )。小学校児童の欠席状況調査の結果、11月から調査時までの急性胃腸炎によると思われる欠席者は、1日当たり1 ~ 14名( 欠席率0.1 ~ 1.7% )であったので、保健所は感染症予防のためのリーフレットを配付し衛生教育を実施した。A幼稚園では給食を提供していたが、給食従事者を含む職員の健康状態は良好で( 食材および職員の便検査は未実施 )患者の発生期間が長期にわたったことを考慮すると、給食による発生と考えるより、地域流行による幼稚園での感染性胃腸炎の流行と推察された。

栃木県保健環境センター 内藤秀樹 岡本その子 中井定子 新堀精一 長竹一雄  
 栃木県県北健康福祉センター 千野根純子 伊沢真一

( IASR2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )

## Salmonella Enteritidis フェージ型18による食中毒事例 - 長野県

2000年10月13日、長野市内の医療機関より食中毒様症状を呈する患者を診察した旨の連絡が管轄保健所に入った。同保健所で調査したところ、患者は、10月10日長野市内の飲食店で食事をした2グループおよび個人客ら15名で、11日午前2時頃から発熱、下痢、腹痛等の食中毒様症状を呈し、医療機関の診察を受け、5名が入院した。同保健所における検査の結果、患者および調理従事者の便から *Salmonella* Enteritidis( SE )を検出したため、この飲食店を原因とする食中毒と断定した。

その後の調査で、食中毒様症状を呈した患者は、10月10日同店で昼食に「すき焼き丼定食」を食べた10名と「すき焼き丼」を食べた調理従事者2名、午後6時に「晩酌膳」を食べた3名であった。「晩酌膳」の中には「すき焼き卵とじ」があり、卵を入れてからの加熱が不十分であった。「すき焼き丼」、「すき焼き卵とじ」とも、あらかじめ大きなボールに多数の卵を割りほぐした卵液を作っておき、それをすでに調理しておいたすき焼きに提供直前にかけ、加熱せずに出すという調理法であった。

原因物質の細菌学的検査は、加熱したすき焼き丼の具、生卵等の食材、生卵保存タッパー内のふきとり材料、患者および調理従事者便について実施した。その結果、15名中調理従事者1名を含む7名の便からSEが検出されたが、共通原因食材として疑われた生卵等の検食および保存タッパーからSEは検出されなかった。国立感染症研究所( 感染研 )にファージ型別を依頼したところ、7名中6名から検出されたSEは18型、あとの1名は4型であった。ファージ型18による食中毒は、わが国における2例目の事例である。1例目の事例は、1998年8月に同じく長野市で発生している( IASR Vol.19、No.12参照 )。このように、長野市内でファージ型18による集団事例が発生した原因については、現在のところ不明であるが、18型出現に特異な要因があるとすれば、SEのファージ型別はさらに重要な意味を有してくると思われる。

なお、その後、長野市内の某施設でもSEの集団食中毒が発生しており、感染研にファージ型別を依頼したところ、同じく18型であった。その因果関係は現在調査中である。

長野県衛生公害研究所 関 映子  
長野県長野市保健所 赤沼益子 小野諭子 岡村雄一郎

( IASR2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )

## 学校集団かぜからのB型インフルエンザウイルスの分離 - 静岡県

静岡県におけるインフルエンザは例年第3週 ~ 6週に流行のピークを迎えるが、今シーズンは第3週における患者報告数は定点当たり0.77人と少なく、まだ目立った流行はみられない。

2001年1月30日現在の集団かぜによる学級閉鎖は、志太榛原保健所管内の2小学校と1幼稚園の3学級にとどまっている。今回、1月17日に発生した焼津市内A小学校、1月22日に発生した藤枝市内B小学校の集団かぜについて、うがい液を採取してMDCK細胞を用いてウイルス分離を行った。その結果、A校の4/11人、B校の6/9人から、B/Yamagata( 山形 )16/88系統に入るB型ウイルスが分離された。また、各校の一部の検体については発育鶏卵でも同ウイルスが分離された。志太榛原保健所管内では、2000年8月および12月にも散発的に同系統のB型ウイルスが分離されており、これらとの抗原的な関係が注目される。

なお、今回、ウイルス分離用うがい液として生理食塩水を用いたところ、採材準備の簡略化および患者の抵抗感の軽減化が認められた。また、ウイルス分離においても良好な成績が得られ、実用的な方法であることが確認された。

静岡県環境衛生科学研究所 佐原啓二 杉枝正明 長岡宏美 秋山真人  
静岡県志太榛原保健所 篠宮千泰 杉山郁子 藤田 信

( IASR2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

### ウガンダのエボラ出血熱更新 - 新たな患者発生見られず

WHO/CSR 2001年1月24日

Gulu地区では、2001年1月14日以降、新たな患者は発生していない。累積患者総数は150人の死亡者を含む396人のままである。

Masindi地区でも2000年12月19日以降、新たな患者は発生していない。累積患者総数は19人の死亡者を含む27人のままである。

### 南アフリカのコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2001年1月26日

Kwazulu-Natal保健省は2000年の8月の中旬から始まった流行で、1月25日までに27,431人の患者と74人の死亡者を報告した。

### ドイツのライム病サーベイランス

Eurosurveillance weekly 2001年1月25日

ライム病は、ドイツでは珍しくなく、潜在的な危険性がある感染症であるが、発生率、地域分布、症状のデータは少ない。しかし、ドイツの16州のうち6州では届け出疾患にライム病が含まれており、この6州で全症例の約25%がカバーできると推定される。

1999年、この6州で1,411例のライム病が報告された。1998年と比べると8%減少したが、重篤な臨床症状を呈する症例は少なくない。

1,411例のうち1,338例(95%)が血清学的に確認された。症例の77%(1,083/1,411)が感染の初期であったため、特異的治療が有効であった。皮膚症状のうち最も重要なのは慢性遊走性紅斑で767例(54%)に見られた。206例(15%)が中枢神経系の症状を呈しており、関節症状は292例(21%)に、心血管系の症状は24例(11例が心筋炎)に認められた。215例(15%)が入院治療を受けていた。

患者の837例(89%)はダニによる刺咬を自覚していた。急性例のおよそ89%は3月から10月に発生していた。この時期に野外で活動する人は注意が必要である。

### エコチャレンジ参加者に発症したレプトスピラ症 - 更新

CDC/MMWR 2001年1月19日

CDCは2000年9月7日～11日の間に、アイダホ州保健局、ロサンゼルス郡保健サービス局、およびGeoSentinel Globalサーベイランスネットワークから少なくとも3カ国で20人の急性熱性疾患患者の報告を受けた。全ての患者は2000年8月31日から9月3日の間に、マレーシアのボルネオで開催された複合スポーツ探検レースに参加していた。合衆国内29州と26カ国からの選手であった。病因はレプトスピラでSegama川の水が感染源であることが示された。大会に参加した304人の選手のうち連絡が取れた158人(52%)から回答が得られ、83人(52%)に悪寒、80人(51%)に筋痛、76人(48%)に頭痛、58人(36%)に下痢の症状があった。158人の選手のうち、109人が発病したと報告され、68人(44%)がレプトスピラ症の症状に一致していた。そのうちで、血清検査を行った32人中20例がレプトスピラの抗体陽性であった。

冒険的なスポーツと探検旅行の参加者は、一般的ではない感染症にも曝露する可能性を考えるべきである。





# 感染症の話

## エロモナス・ハイドロフィラ / ソブリア感染症

エロモナス( *Aeromonas* )の研究の歴史は古く、1800年代の末期にはカエルの“ red leg ”の病原菌として認識されていた。本菌のヒト感染症へのかかわりは1950年代中頃から報告されたが、特に1970年代からは本菌による下痢症に対する関心が高まり、わが国では1982( 昭和57 )年にエロモナス属菌のうち *A. hydrophila* および *A. sobria*( エロモナス・ハイドロフィラ / ソブリア )が新たに食中毒菌に指定された。しかしその後、本菌の分類は複雑化していることから、はじめに分類の概略を示す。

厚生省がエロモナス・ハイドロフィラ / ソブリアを食中毒菌に指定した当時、エロモナスの分類はPopoffの分類が世界的に受け入れられていた。Popoffは実用性を重視した結果、分類学的には元来は種に分けるべき菌を、生化学的性状では鑑別できないという理由であえて同一種とした。しかしその後の研究で、エロモナスには現在16のハイブリダイゼーション群( HG )が認められ、それぞれに該当する14遺伝種( genospecies )および13表現種( phenospecies )が命名されている( 表 )。本表において、エロモナス・ハイドロフィラ / ソブリアにはHG1、HG2、HG3、HG7、HG8、HG10があてはまる。

表 . *Aeromonas* の分類 ( 新訂 食水系感染症と細菌性食中毒 , 中央法規出版 )

HG*	遺伝種	表現種	ヒトからの分離
1	<i>A. hydrophila</i>	<i>A. hydrophila</i>	++++
2	<i>A. bestiarum</i>	<i>A. hydrophila</i>	+
3	運動性、中温性、未命名菌種 <i>A. salmonisida</i> <sup>a</sup>	<i>A. hydrophila</i> <i>A. salmonisida</i>	+ -
4	<i>A. caviae</i>	<i>A. caviae</i> <sup>c</sup>	++++
5A	未命名菌種	<i>A. caviae</i>	-
5B	<i>A. media</i>	<i>A. media</i>	-
6	<i>A. eucrenophila</i>	<i>A. eucrenophila</i>	-
7	<i>A. sobria</i>	<i>A. sobria</i>	-
8	<i>A. veronii</i>	<i>A. veronii</i> 生物型 <i>sobria</i> <sup>d</sup>	++++
9	<i>A. jandaei</i>	<i>A. jandaei</i>	++
10	<i>A. veronii</i>	<i>A. veronii</i> 生物型 <i>veronii</i> <sup>d</sup>	++
11	<i>A. encheleia</i>	<i>A. encheleia</i>	-
12	<i>A. schubertii</i>	<i>A. schubertii</i>	++
13	未命名菌種	<i>Aeromonas</i> "Group501"	+
14	<i>A. trota</i>	<i>A. trota</i>	++
15	<i>A. allosaccharophila</i>	<i>A. allosaccharophila</i>	-
16	<i>A. popoffii</i>	<i>A. popoffii</i>	-

\* DNA group または hybridization group ( 既発表のものを総括 )

<sup>a</sup> サカナ由来の好冷菌を含む。サカナ由来の好冷菌はヒト由来のHGとは生化学的に異なる。

<sup>c</sup> *A. punctata* の名を主張するものである。

<sup>d</sup> HG8およびHG10は遺伝学的には同じであるが、そのtype strainが生物学的に異なるので、生物型として分けられている。

## 疫学

エロモナス・ハイドロフィラ / ソブリアをはじめとするエロモナスは淡水域の常在菌で、河川、湖沼、その周辺の土壌および魚介類等に広く分布している。また、河川水のみならず沿岸海水からもよく分離される。本菌感染症の発生は、それら自然環境の本菌による汚染が直接または間接に影響し、菌の増殖が活発な夏期に多い。本菌の分離率は、地域、年、季節、検査方法などによって異なるが、全体的に熱帯および亜熱帯地域の開発途上国で高いので、これらの地域への渡航者下痢症からも本菌が分離される。

わが国では明らかなエロモナス集団下痢症の事例はないが、疫学的証拠から本菌は下痢症の原因菌として広く承認されている。症例のほとんどは散发例で、小児や50才以上の成人に多く発生するのが特徴的である。また、腸炎ピブリオなどの他の病原菌が同時に分離される事例が多い。

一方、本菌は腸管外感染症の原因ともなり、下痢症について多いのは創傷感染である。腸管外感染症の部位はほぼ全身の組織に及ぶが、特に皮膚や筋肉などの軟組織感染が多く報告されている。ごく最近、新しい症例として溶血性尿毒症症候群、熱傷に起因する敗血症、咽頭蓋炎などの様々な呼吸器系感染症の報告がみられた。

## 病原体

エロモナス・ハイドロフィラ / ソブリアはグラム陰性の通性嫌気性桿菌で、通常菌体の一端に単毛の鞭毛を持つが、幼若培養菌では周毛が観察されることがしばしばある。エロモナスの中には非運動性菌および30℃以上では発育できない低温菌もあるが、エロモナス・ハイドロフィラ / ソブリアはその発育至適温度が30~35℃の中温性菌である。ヒト感染症には一般に中温性エロモナスの菌種が関与する。臨床材料から分離されるエロモナスの85%以上はエロモナス・ハイドロフィラ / ソブリア (*A. hydrophila*, HG1および*A. veronii*生物型*sobria*, HG8) またはエロモナス・キャビエ (*A. caviae*) であることが示されており、Popoffの分類のtype strainのひとつである*A. sobria* (HG7) がヒトから分離されることは極めて稀である。

エロモナス感染症の発病機序およびその病原因子についての研究は、ほとんどが下痢症およびそれらの分離菌について行なわれてきた。エロモナス・ハイドロフィラ / ソブリア (*A. hydrophila*) の一群の菌種と*A. veronii*生物型*sobria* の病原因子は種々検討されているが、なかでも外毒素は良く研究されており、ヘモリシンとコレラ毒素に関連する物質とに大別される。しかし、下痢発症に重要である物質は確定されていない。

## 臨床症状

エロモナスによる腸炎は、平均12時間の潜伏期の後、多くは軽症の水様性下痢や腹痛を主訴として発症し、通常、発熱はあっても軽度で、1~3日で回復する。しかし、下痢が長期間(数週間に及ぶこともある)持続する患者では潰瘍性大腸炎に類似する状態を起こすこともある。また、時には激しいコレラ様の水様性下痢を起こすことがあり、稀に血便、腹痛および発熱を伴う症例もみられる。

### 病原診断

軽度の急性胃腸炎であることが多く、確定診断には糞便からの菌の分離が必要である。糞便からのエロモナス・ハイドロフィラ/ソブリアの分離培養検査には、赤痢菌やサルモネラの選択分離培地であるSS、DHL、マッコンキー寒天培地などを適用できるが、SS寒天培地では発育を抑制される菌株もある。糞便以外の臨床材料では一般に血液寒天培地が用いられ、エロモナス・ハイドロフィラ/ソブリアは本培地上で溶血性の集落を形成する。血液寒天培地にアンピシリンを添加して選択性を強化した培地は本菌の分離に有用である。同定は生化学的性状によって行われるが、エロモナス・ハイドロフィラ/ソブリアの性状に一致しない臨床由来の中温性エロモナスも無視できないので、注意が必要である。なお、本菌の血清型別は国立感染症研究所において実施できる。

### 治療・予防

軽症例ではあえて特別な治療をしなくても自然に治癒する。しかし、赤痢様あるいはコレラ様の症状を呈した場合には、経口または静脈内輸液等の対症療法と共に抗菌薬の投与が必要である。成人ではニューキノロン系、小児にはノルフロキサシン、5歳未満の小児にはフォスホマイシンを選択し、常用量3～5日間の内服による治療が一般的である。

エロモナス・ハイドロフィラ/ソブリア感染症の予防は、一般の細菌性食中毒の予防法と同様である。なかでも特に注意すべきことは、給水施設の衛生管理が不十分な水を飲用しない。本菌の汚染が考えられる水あるいは魚介類からの調理食品の二次汚染を防止する。本菌は低温(4～7℃)でも増殖するので冷蔵保存を過信しない。また、開発途上国への旅行者および滞在者は、生水を摂取しないように十分注意することである。

### 食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

( 神奈川県衛生研究所細菌病理部 山井志朗 )



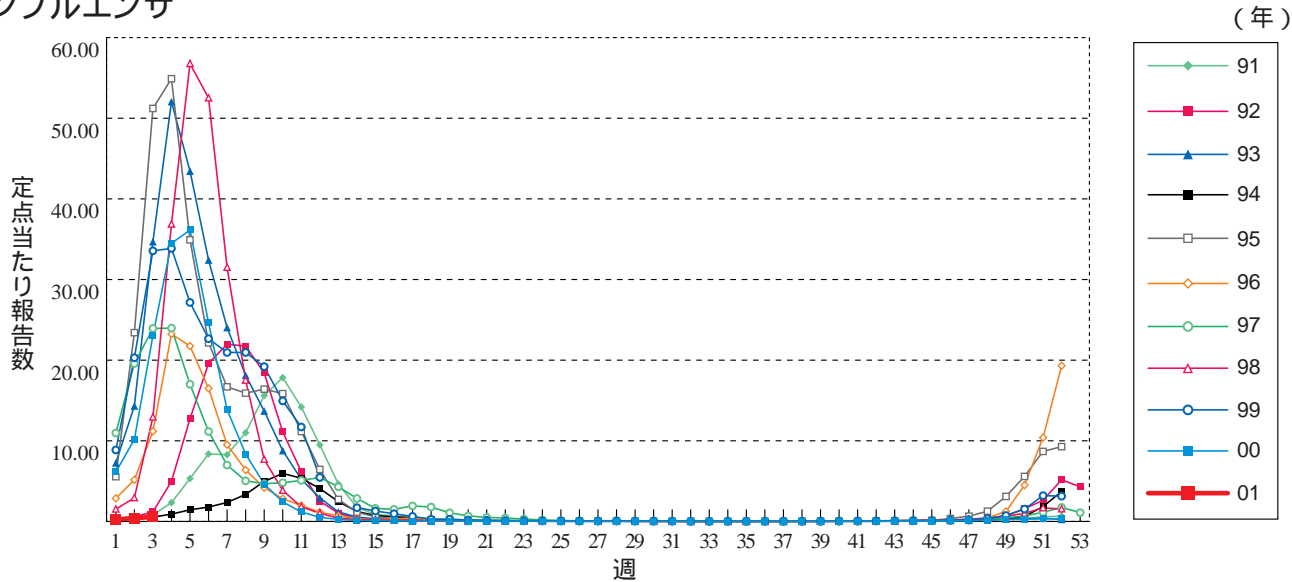
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

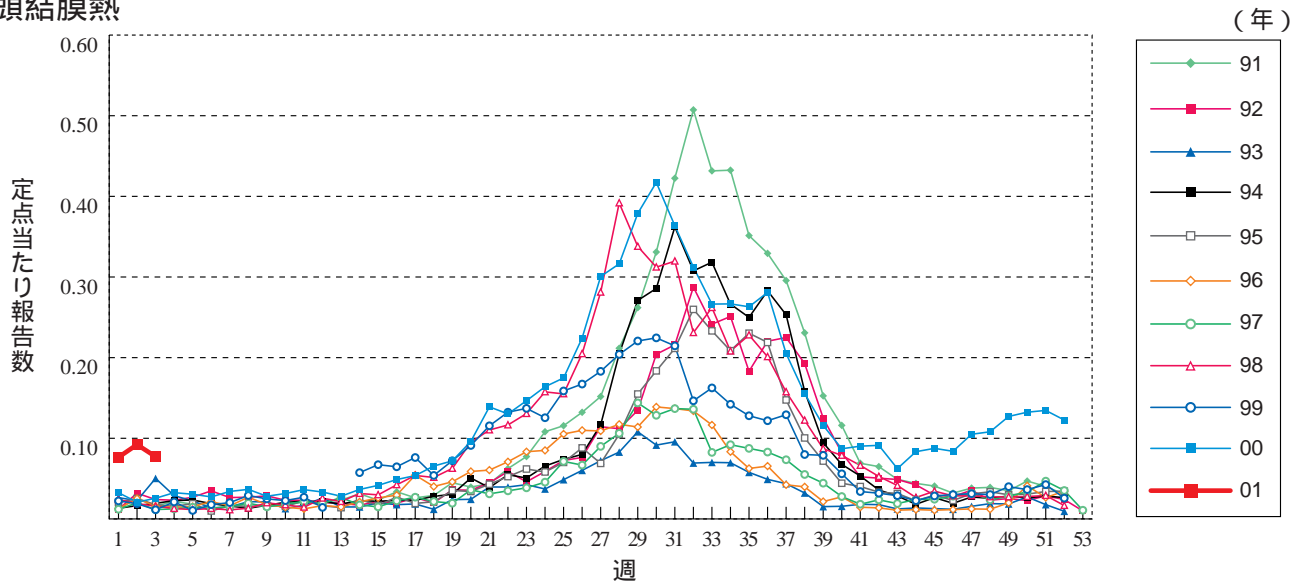
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧( 3週 )**

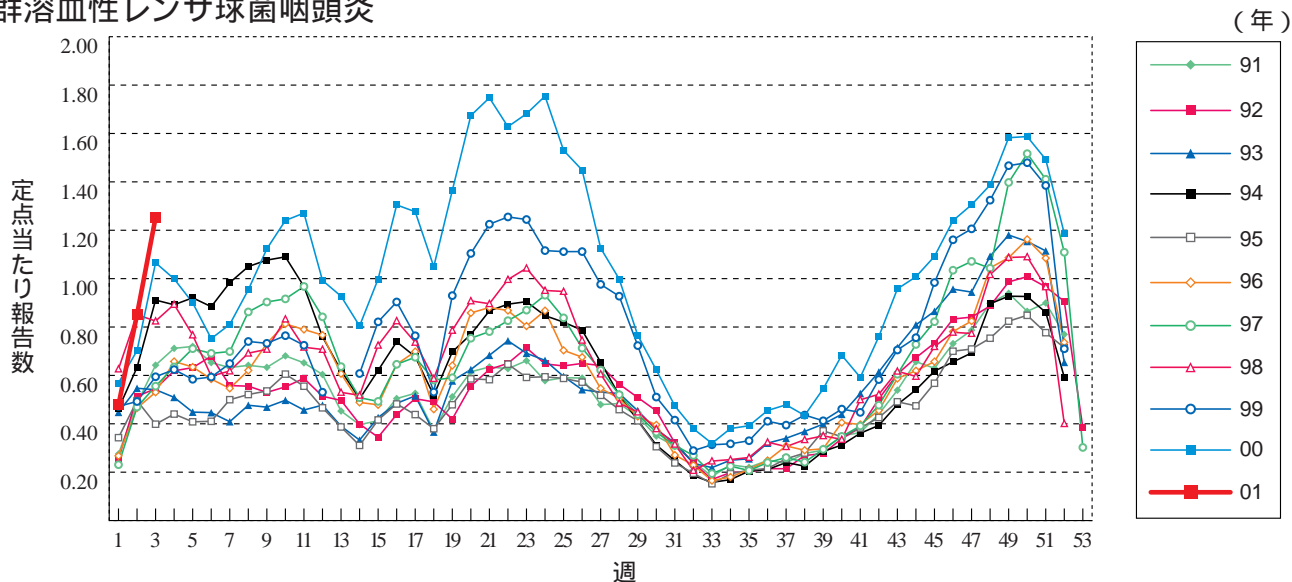
**インフルエンザ**



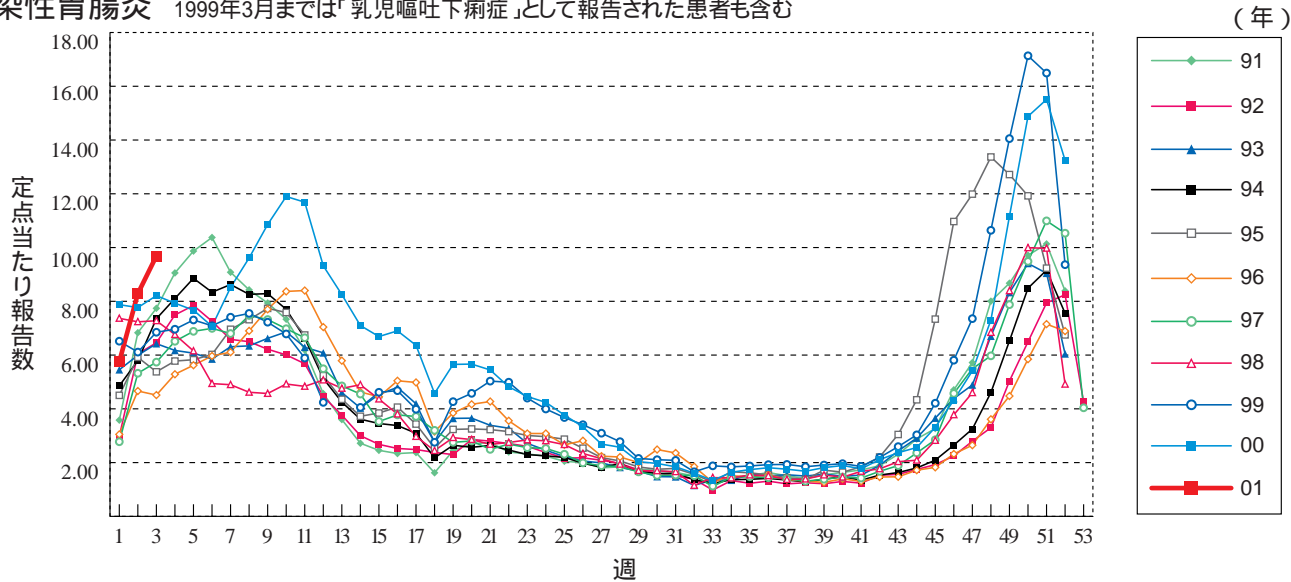
**咽頭結膜熱**



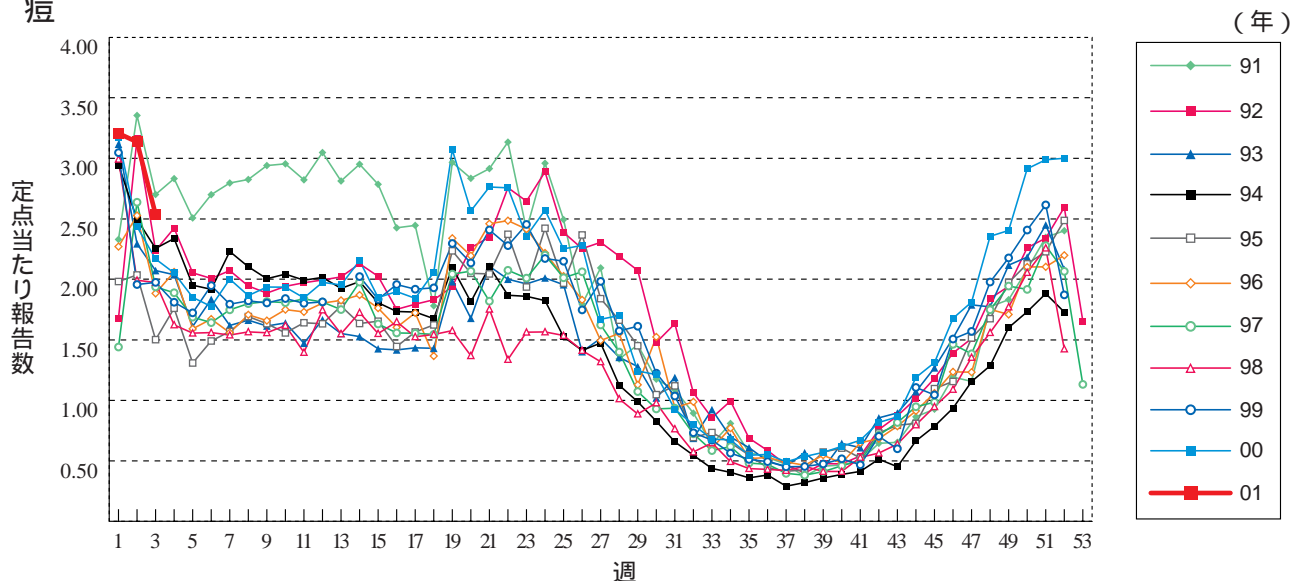
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



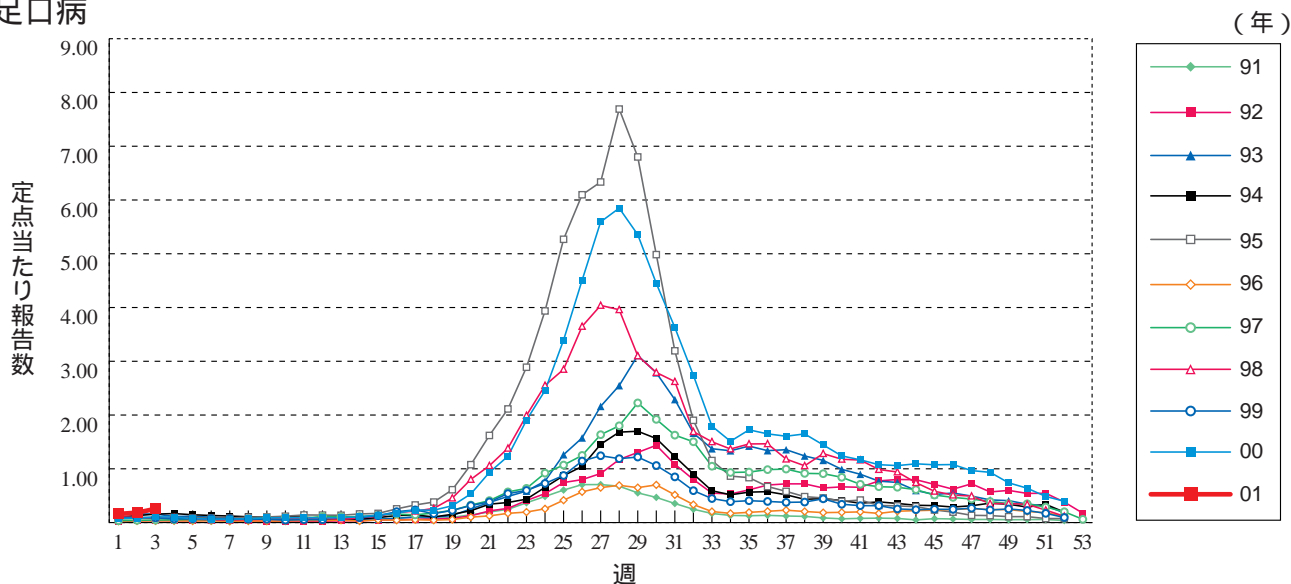
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



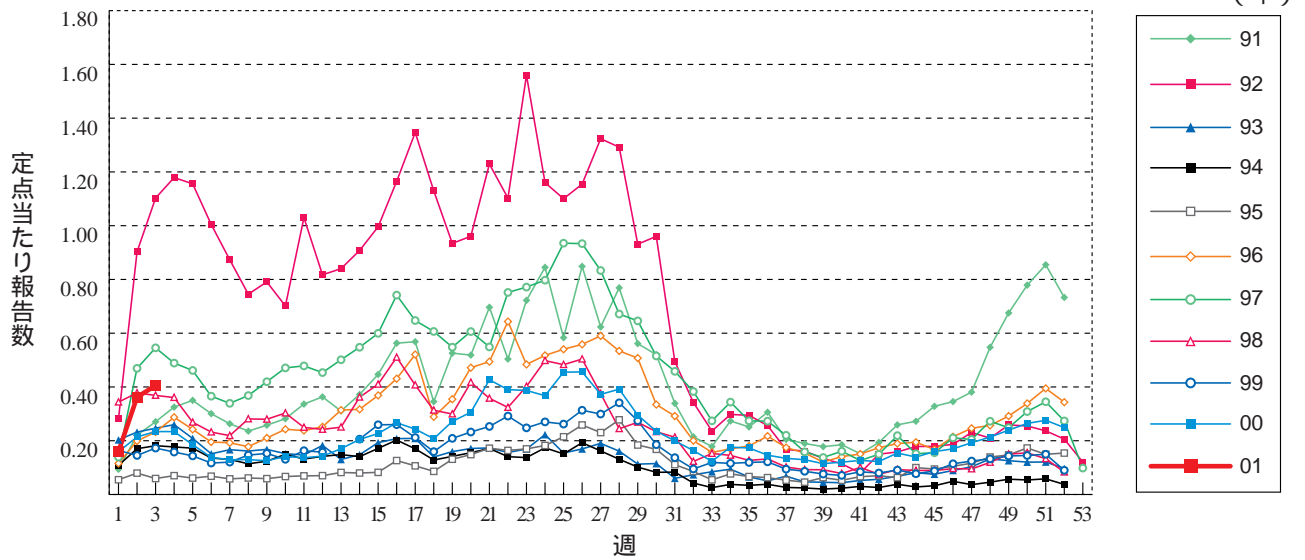
**水痘**



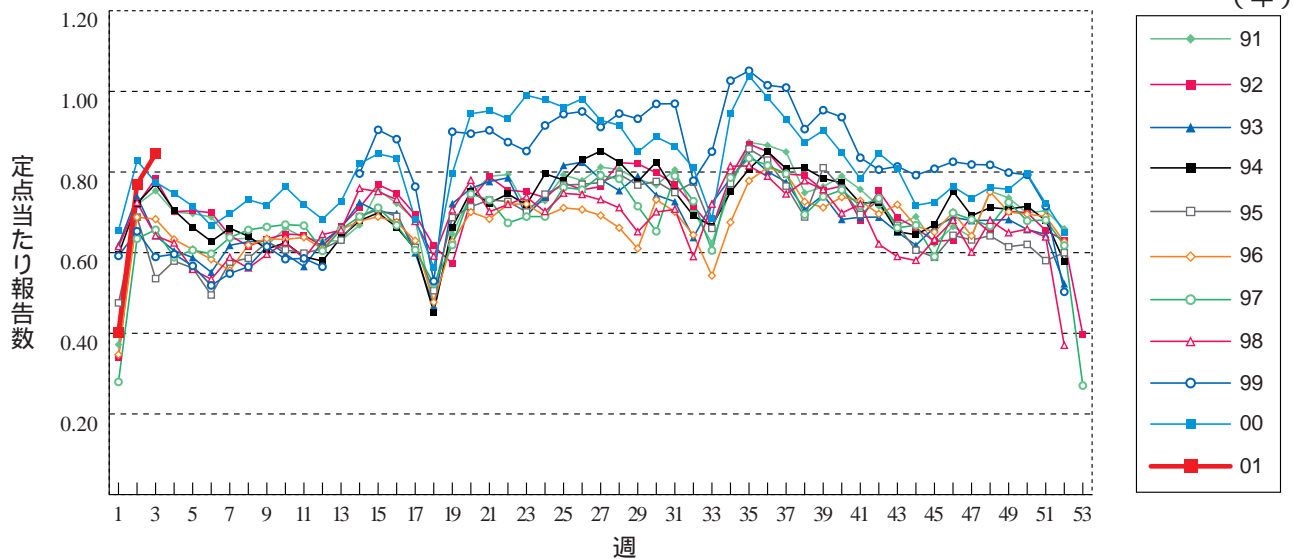
**手足口病**



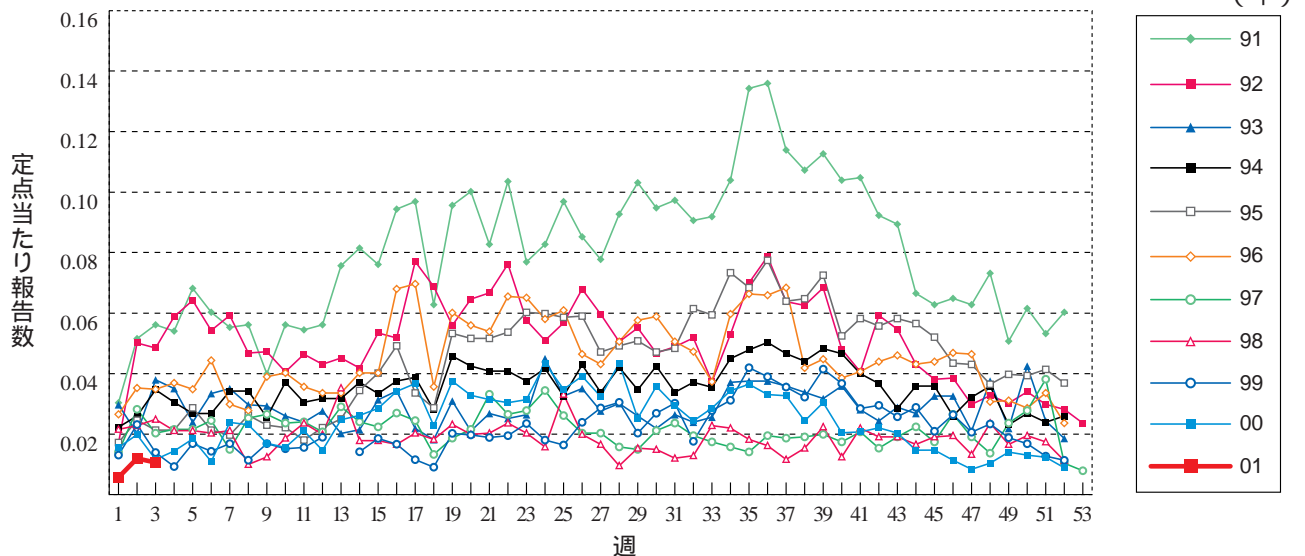
伝染性紅斑



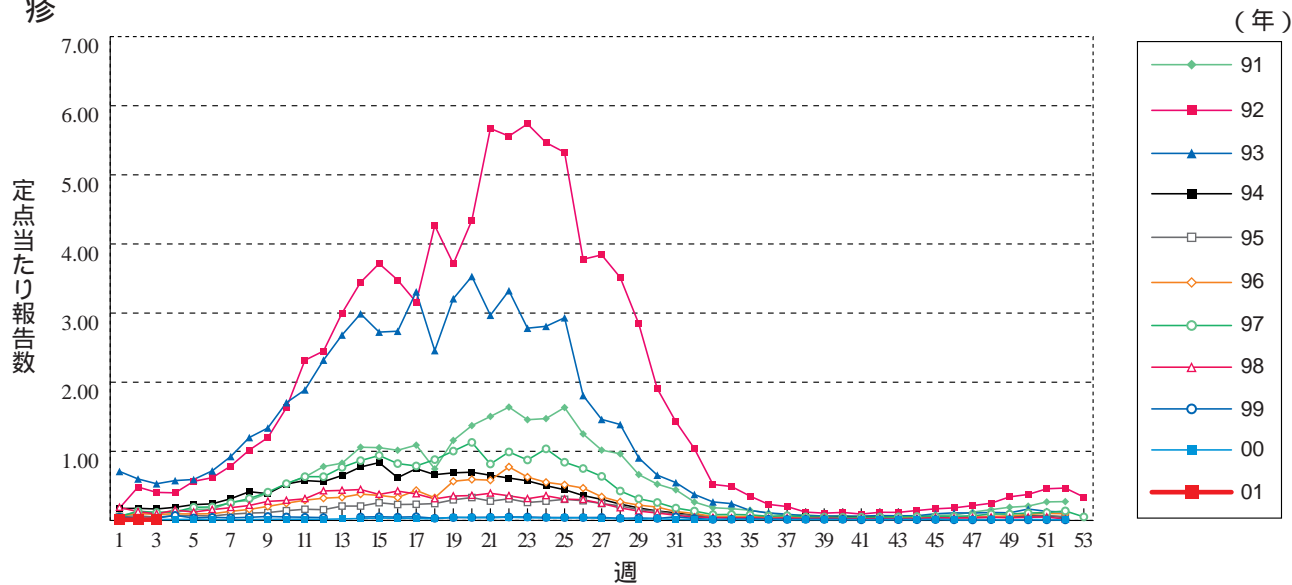
突発性発疹



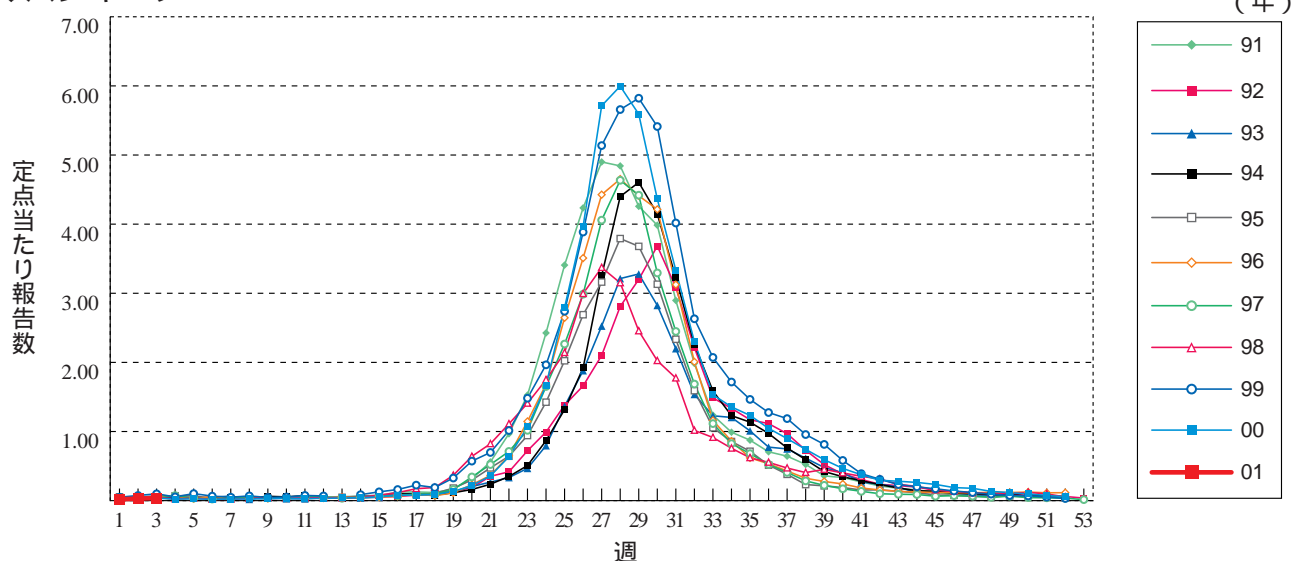
百日咳



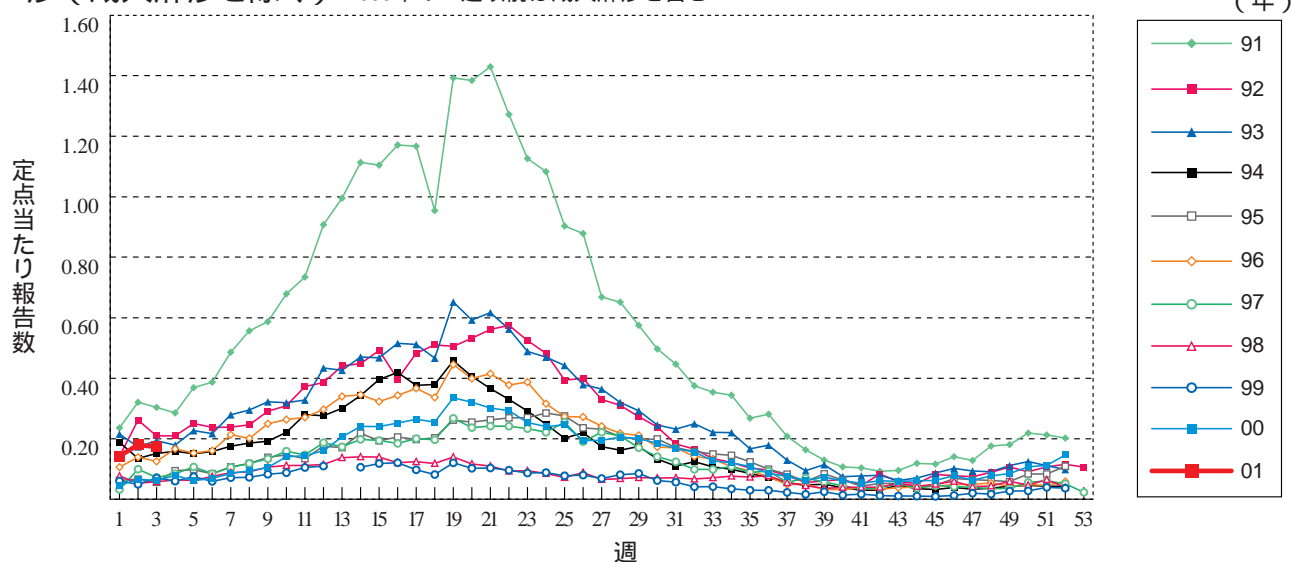
風 疹



ヘルパンギーナ

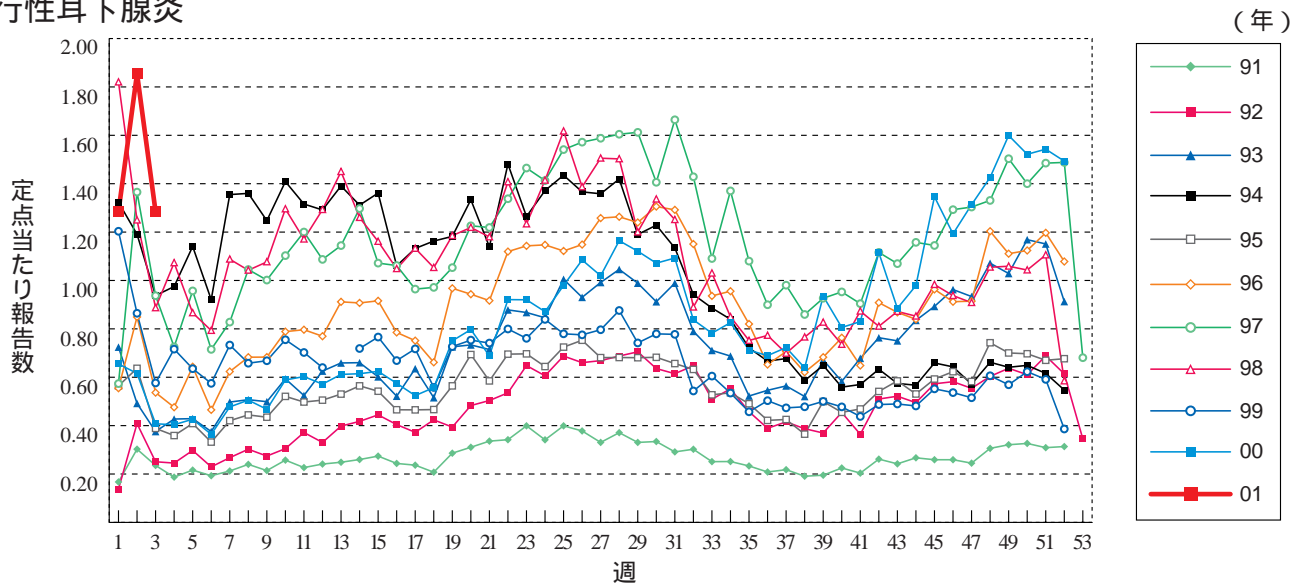


麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む

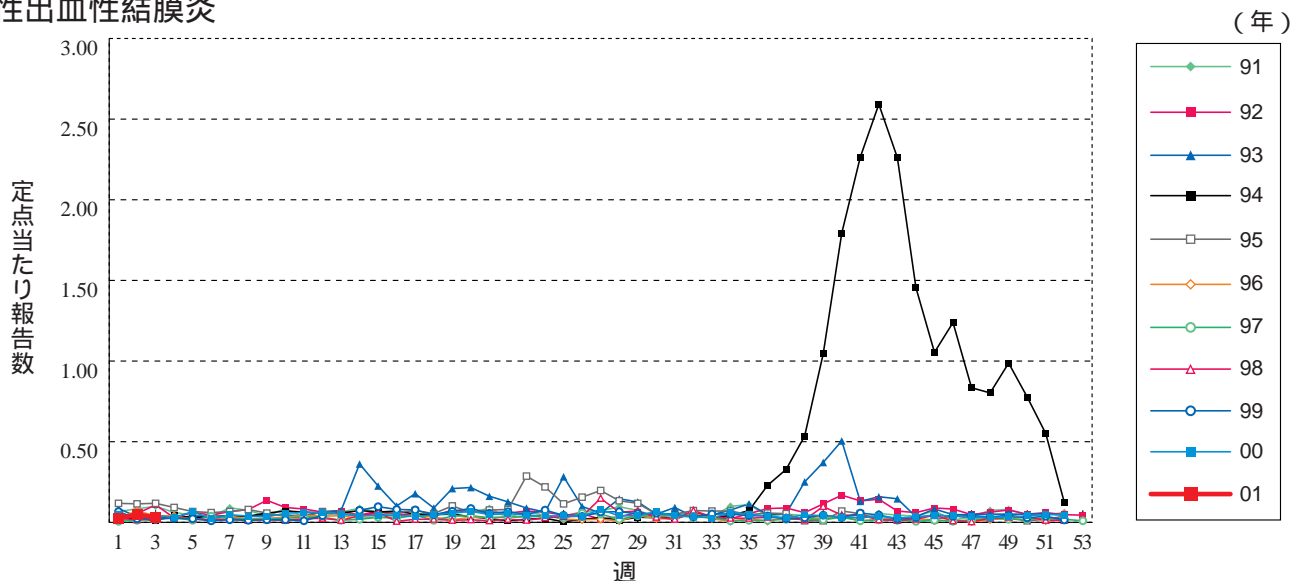




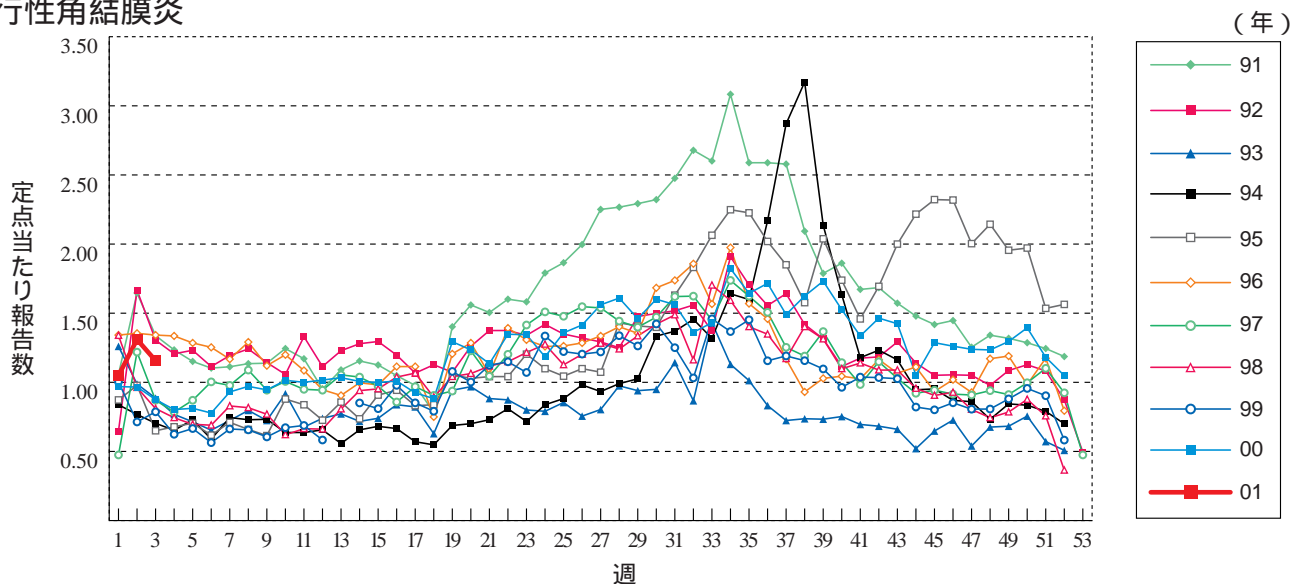
**流行性耳下腺炎**



**急性出血性結膜炎**

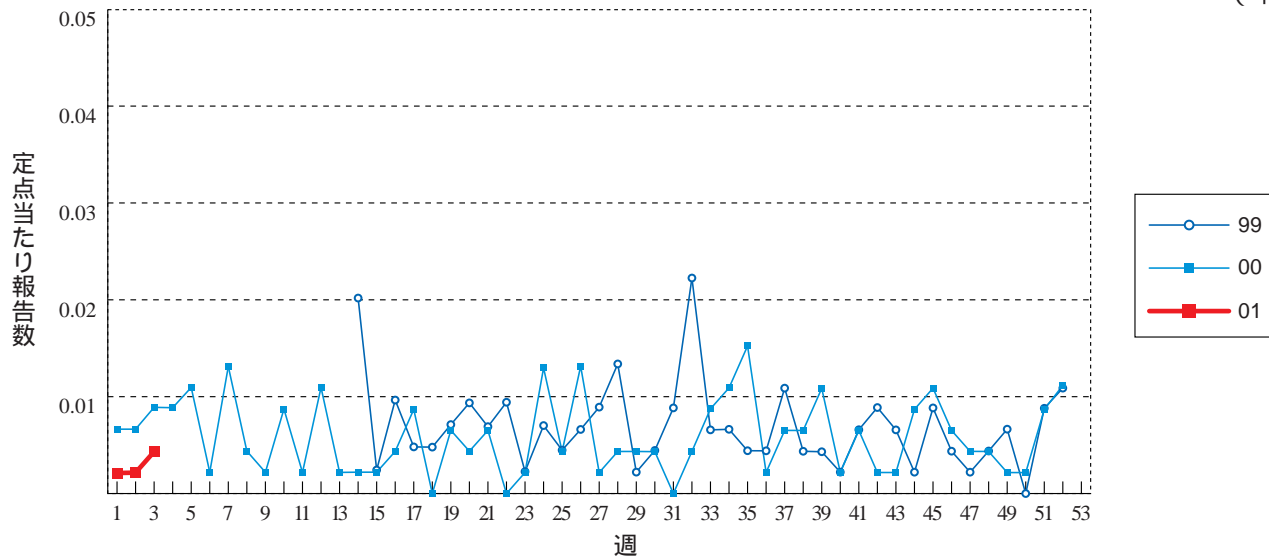


**流行性角結膜炎**



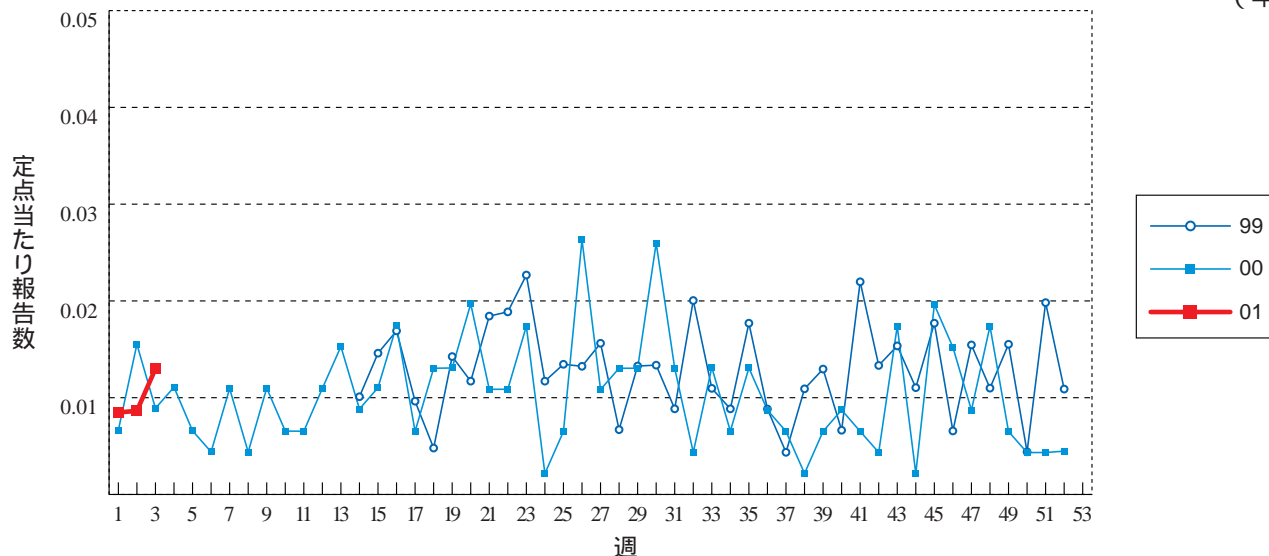
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



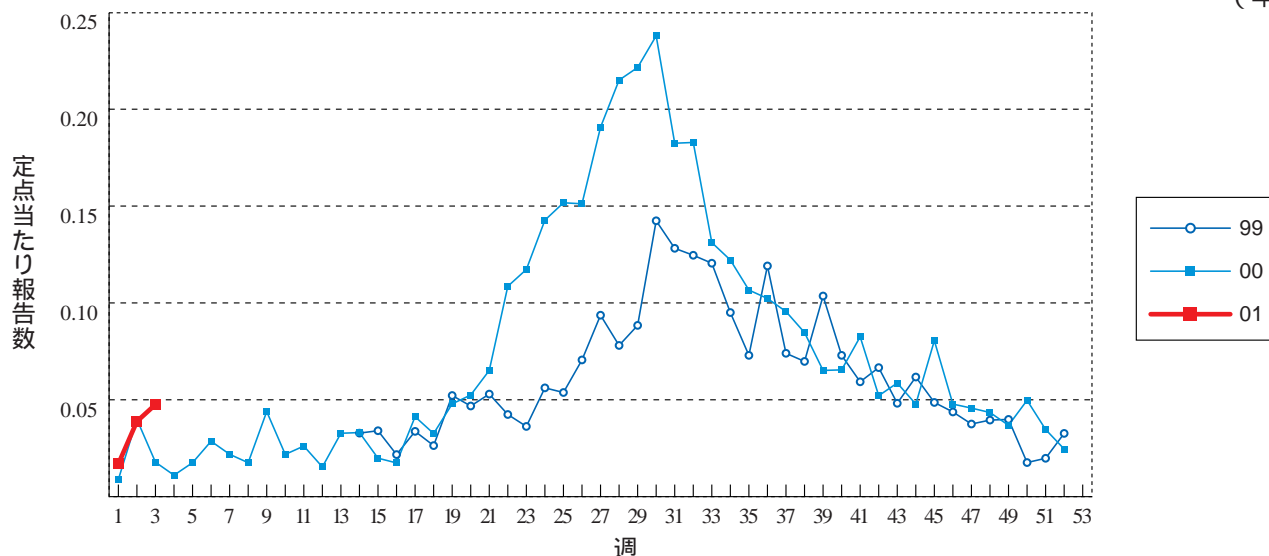
細菌性髄膜炎

(年)



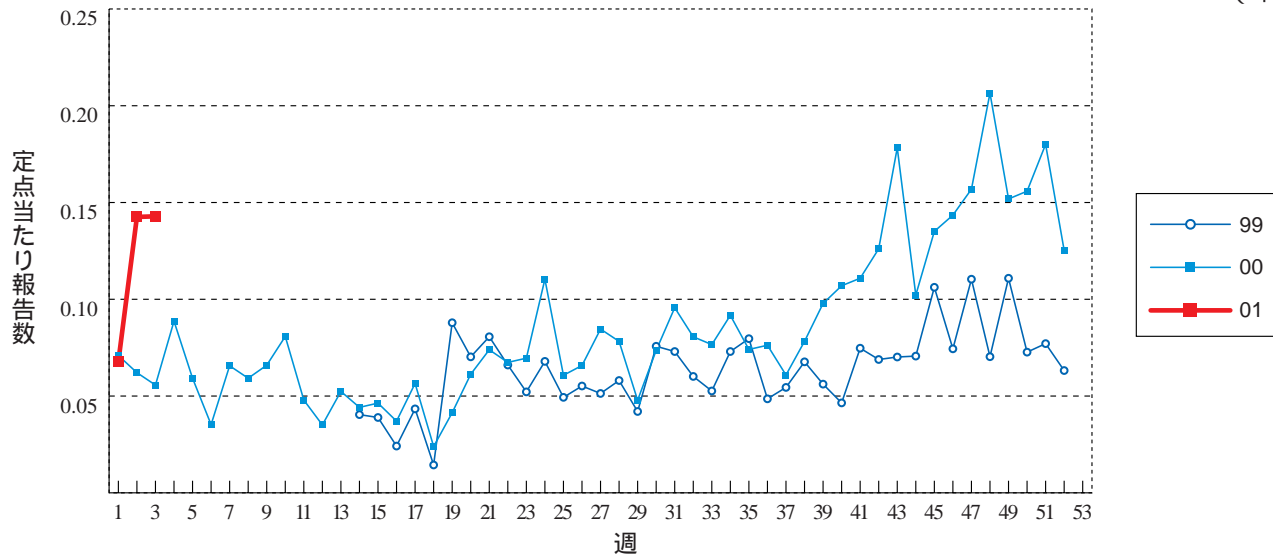
無菌性髄膜炎

(年)



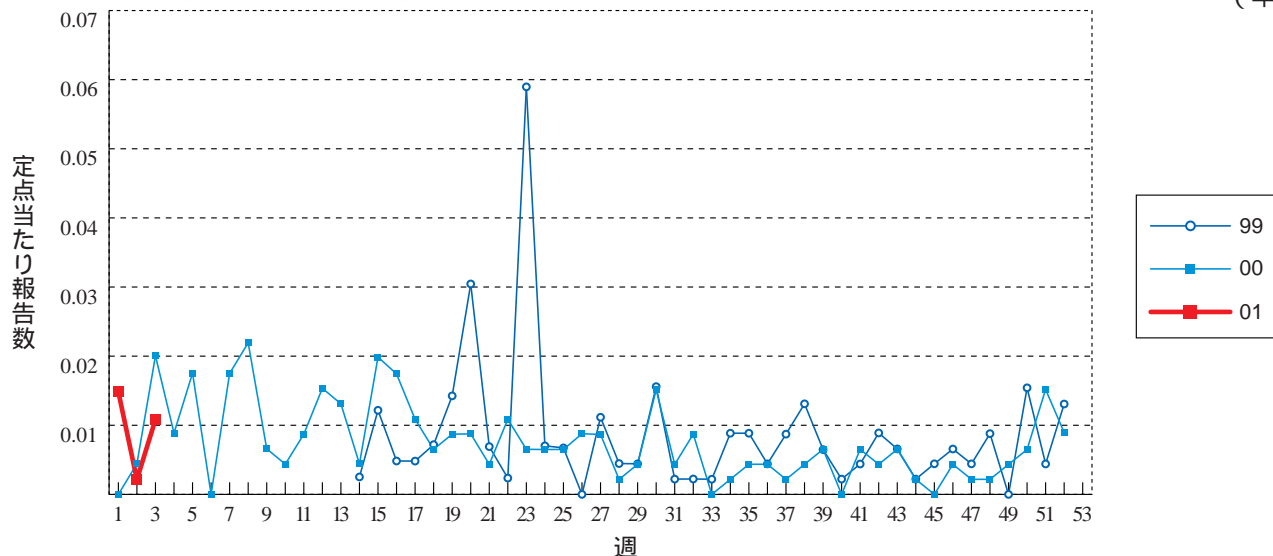
マイコプラズマ肺炎

(年)



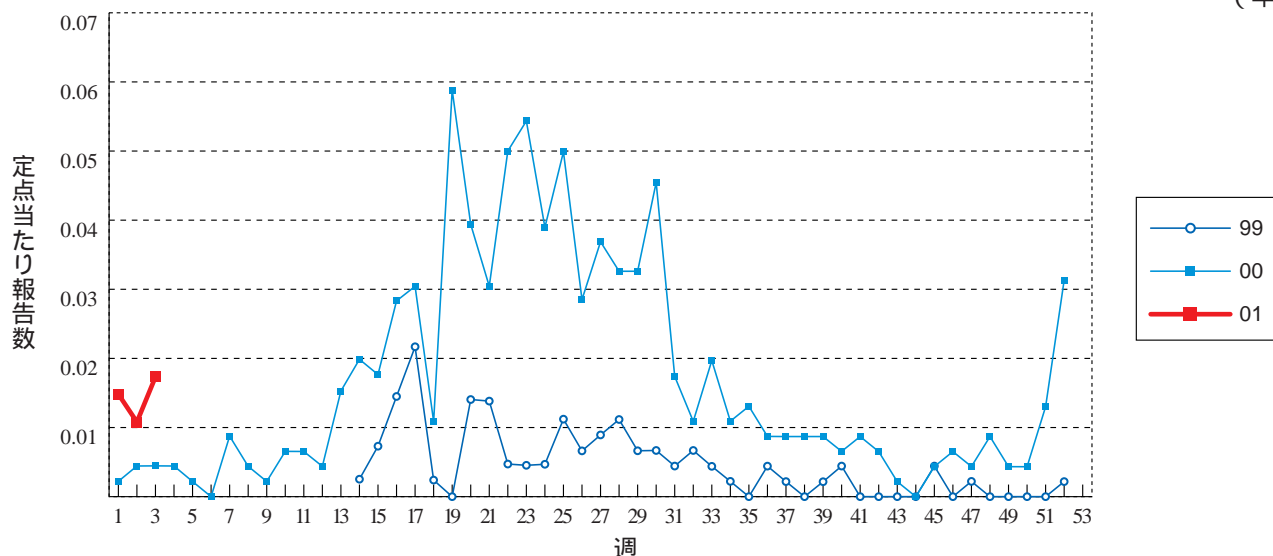
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





### 3週のデータ

注)表中の報告数は1月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年3週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	32	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年3週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	13	35	4	19	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	4	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年3週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	2	6	25	-	-	-	3	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	10	-	-	-	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年3週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	5	22	1	2	-	-	-	-	-	-	8	22
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	3	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年3週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年3週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2629	0.57	233	0.08	3778	1.25	29211	9.69	7650	2.54	771	0.26	1223	0.41	2549	0.85	32	0.01
北海道	61	0.27	6	0.04	155	1.07	354	2.44	407	2.81	2	0.01	80	0.55	101	0.70	1	0.01
青森県	20	0.31	-	-	26	0.63	116	2.83	99	2.41	18	0.44	1	0.02	13	0.32	-	-
岩手県	23	0.37	-	-	21	0.55	166	4.37	92	2.42	-	-	53	1.39	20	0.53	1	0.03
宮城県	28	0.29	9	0.15	98	1.66	949	16.08	190	3.22	32	0.54	53	0.90	63	1.07	1	0.02
秋田県	9	0.16	6	0.17	33	0.94	332	9.49	78	2.23	4	0.11	5	0.14	21	0.60	-	-
山形県	10	0.21	8	0.27	85	2.83	318	10.60	97	3.23	5	0.17	40	1.33	31	1.03	3	0.10
福島県	11	0.15	-	-	37	0.77	381	7.94	135	2.81	24	0.50	18	0.38	35	0.73	-	-
茨城県	67	0.57	2	0.03	98	1.34	776	10.63	222	3.04	12	0.16	5	0.07	31	0.42	-	-
栃木県	22	0.31	1	0.02	89	1.93	386	8.39	87	1.89	14	0.30	14	0.30	44	0.96	1	0.02
群馬県	27	0.27	2	0.03	143	2.31	559	9.02	166	2.68	4	0.06	15	0.24	54	0.87	-	-
埼玉県	183	0.72	6	0.04	250	1.58	2099	13.28	410	2.59	24	0.15	122	0.77	140	0.89	-	-
千葉県	92	0.47	10	0.08	216	1.69	1771	13.84	305	2.38	23	0.18	119	0.93	93	0.73	5	0.04
東京都	73	0.41	7	0.05	63	0.44	1126	7.93	170	1.20	12	0.08	69	0.49	68	0.48	-	-
神奈川県	204	0.63	13	0.06	156	0.76	2007	9.79	475	2.32	18	0.09	109	0.53	214	1.04	-	-
新潟県	54	0.55	16	0.27	178	2.97	615	10.25	209	3.48	6	0.10	13	0.22	47	0.78	2	0.03
富山県	21	0.44	3	0.10	74	2.55	222	7.66	76	2.62	17	0.59	3	0.10	21	0.72	-	-
石川県	5	0.10	2	0.07	53	1.83	301	10.38	70	2.41	11	0.38	15	0.52	33	1.14	1	0.03
福井県	6	0.19	2	0.09	22	1.00	281	12.77	89	4.05	7	0.32	7	0.32	20	0.91	-	-
山梨県	21	0.51	2	0.08	8	0.32	260	10.40	49	1.96	1	0.04	3	0.12	11	0.44	-	-
長野県	117	1.36	7	0.13	104	1.93	653	12.09	226	4.19	7	0.13	10	0.19	61	1.13	1	0.02
岐阜県	49	0.56	-	-	77	1.45	180	3.40	116	2.19	24	0.45	10	0.19	32	0.60	-	-
静岡県	105	0.77	17	0.20	69	0.80	1049	12.20	282	3.28	13	0.15	45	0.52	81	0.94	1	0.01
愛知県	96	0.50	4	0.02	221	1.21	1377	7.57	516	2.84	57	0.31	87	0.48	181	0.99	-	-
三重県	32	0.59	5	0.14	85	2.30	655	17.70	95	2.57	2	0.05	10	0.27	49	1.32	-	-
滋賀県	17	0.35	1	0.03	28	0.88	155	4.84	66	2.06	6	0.19	7	0.22	24	0.75	-	-
京都府	85	0.67	1	0.01	86	1.13	663	8.72	105	1.38	6	0.08	22	0.29	54	0.71	-	-
大阪府	202	0.68	12	0.06	124	0.65	1137	5.92	353	1.84	20	0.10	26	0.14	140	0.73	5	0.03
兵庫県	196	0.99	11	0.09	138	1.09	1252	9.86	277	2.18	31	0.24	16	0.13	127	1.00	-	-
奈良県	21	0.38	-	-	17	0.49	384	10.97	77	2.20	4	0.11	1	0.03	29	0.83	-	-
和歌山県	50	1.04	-	-	39	1.26	314	10.13	98	3.16	2	0.06	1	0.03	29	0.94	-	-
鳥取県	11	0.38	1	0.05	99	5.21	194	10.21	53	2.79	1	0.05	-	-	31	1.63	-	-
島根県	39	1.03	2	0.09	11	0.48	212	9.22	57	2.48	4	0.17	-	-	19	0.83	-	-
岡山県	36	0.43	17	0.31	71	1.31	482	8.93	141	2.61	7	0.13	4	0.07	45	0.83	-	-
広島県	45	0.38	7	0.09	110	1.47	857	11.43	144	1.92	11	0.15	27	0.36	55	0.73	-	-
山口県	33	0.47	8	0.16	96	1.96	585	11.94	170	3.47	22	0.45	11	0.22	54	1.10	-	-
徳島県	18	0.47	1	0.04	27	1.17	376	16.35	56	2.43	5	0.22	2	0.09	23	1.00	-	-
香川県	40	0.78	3	0.09	26	0.81	369	11.53	34	1.06	4	0.13	5	0.16	27	0.84	1	0.03
愛媛県	21	0.33	9	0.23	58	1.49	693	17.77	111	2.85	4	0.10	7	0.18	42	1.08	2	0.05
高知県	26	0.53	2	0.06	40	1.29	336	10.84	54	1.74	6	0.19	4	0.13	26	0.84	-	-
福岡県	96	0.52	7	0.07	156	1.49	985	9.38	303	2.89	65	0.62	79	0.75	110	1.05	4	0.04
佐賀県	4	0.10	-	-	22	0.96	224	9.74	87	3.78	13	0.57	15	0.65	41	1.78	-	-
長崎県	26	0.39	-	-	29	0.60	254	5.29	107	2.23	32	0.67	9	0.19	20	0.42	-	-
熊本県	22	0.27	7	0.14	47	0.96	498	10.16	132	2.69	40	0.82	42	0.86	58	1.18	1	0.02
大分県	12	0.21	3	0.09	58	1.66	516	14.74	82	2.34	2	0.06	11	0.31	30	0.86	1	0.03
宮崎県	53	0.88	9	0.24	78	2.11	992	26.81	215	5.81	52	1.41	24	0.65	48	1.30	-	-
鹿児島県	193	1.97	4	0.07	46	0.77	690	11.50	154	2.57	4	0.07	4	0.07	40	0.67	-	-
沖縄県	47	0.81	-	-	11	0.32	110	3.24	113	3.32	93	2.74	-	-	13	0.38	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年3週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	115	0.04	521	0.17	3873	1.28	19	0.03	731	1.16	2	0.00	6	0.01	22	0.05
北海道	-	-	2	0.01	63	0.43	254	1.75	1	0.03	30	1.03	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	1	0.02	3	0.07	52	1.27	1	0.09	13	1.18	-	-	-	-	-	-
岩手県	4	0.11	-	-	6	0.16	7	0.18	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	4	0.07	14	0.24	12	0.20	-	-	6	0.55	-	-	-	-	1	0.08
秋田県	-	-	-	-	3	0.09	16	0.46	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.03	1	0.03	-	-	23	0.77	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.04	-	-	21	0.44	17	0.35	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	1	0.01	8	0.11	73	1.00	-	-	67	4.19	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	7	0.15	15	0.33	-	-	13	1.08	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	-	-	2	0.03	4	0.06	55	0.89	3	0.21	38	2.71	-	-	1	0.11	-	-
埼玉県	2	0.01	10	0.06	10	0.06	413	2.61	1	0.03	40	1.14	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	3	0.02	5	0.04	6	0.05	225	1.76	-	-	45	1.36	-	-	-	-	1	0.08
東京都	2	0.01	5	0.04	8	0.06	122	0.86	-	-	15	1.07	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	4	0.02	22	0.11	335	1.63	2	0.05	66	1.57	-	-	1	0.09	1	0.09
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	154	2.57	1	0.11	25	2.78	-	-	-	-	2	0.17
富山県	-	-	1	0.03	3	0.10	13	0.45	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	10	0.34	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	77	3.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	9	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	31	0.57	1	0.10	15	1.50	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	1	0.02	1	0.02	52	0.98	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	5	0.06	152	1.77	-	-	15	0.75	-	-	-	-	2	0.25
愛知県	3	0.02	11	0.06	15	0.08	199	1.09	-	-	26	0.74	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1	0.03	83	2.24	-	-	6	0.60	-	-	-	-	2	0.25
滋賀県	-	-	1	0.03	2	0.06	28	0.88	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.14
京都府	1	0.01	4	0.05	4	0.05	111	1.46	-	-	10	0.56	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	-	-	20	0.10	22	0.11	268	1.40	1	0.02	19	0.37	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	4	0.03	5	0.04	125	0.98	-	-	23	0.66	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	2	0.06	30	0.86	29	0.83	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	3	0.10	13	0.42	-	-	-	-	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	17	0.89	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	-	-	-	-	31	1.35	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	1	0.02	-	-	37	0.69	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.03	7	0.09	12	0.16	62	0.83	-	-	14	0.70	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	1	0.02	9	0.18	96	1.96	1	0.11	14	1.56	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	4	0.17	-	-	14	0.61	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	38	1.19	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	-	-	30	0.77	-	-	15	2.14	-	-	-	-	-	-
高知県	2	0.06	-	-	99	3.19	24	0.77	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	4	0.04	6	0.06	55	0.52	237	2.26	-	-	73	3.04	-	-	1	0.07	1	0.07
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	27	1.17	-	-	2	0.50	-	-	2	0.33	-	-
長崎県	1	0.02	3	0.06	1	0.02	30	0.63	7	0.70	25	2.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	7	0.14	134	2.73	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	2	0.06	38	1.09	48	1.37	-	-	6	1.20	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	1	0.03	3	0.08	3	0.08	21	0.57	-	-	12	3.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	0.02	21	0.35	28	0.47	-	-	4	0.67	-	-	-	-	2	0.18
沖縄県	1	0.03	1	0.03	9	0.26	26	0.76	-	-	7	0.70	1	0.14	1	0.14	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年3週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	66	0.14	5	0.01	8	0.02
北海道	3	0.13	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	4	0.33	4	0.33	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	1	0.14	-	-
群馬県	1	0.11	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.18	-	-	-	-
新潟県	3	0.25	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.40	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	6	0.46	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	0.13
兵庫県	1	0.07	-	-	-	-
奈良県	3	0.50	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	4	0.80	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	1	0.13
福岡県	3	0.20	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	4	0.36	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	1	0.14

感染症週報 第3巻、第3号 平成13年2月2日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。